

TRANSITION

トランジション

変額個人年金

月次

特別勘定運用レポート 〈組入投資信託の運用状況〉

記載内容について

1. 特別勘定の運用方針・投資リスク等 3 ページ
2. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(世界バランス25SM、世界バランス50SM)・ 4 ページ
3. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(世界バランス75SM) 7 ページ
4. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(世界8資産バランスGS) 11 ページ
5. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(世界株式SM) 16 ページ
6. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(日本債券SM) 18 ページ
7. 組入投資信託の運用状況〈月次〉(外国債券SM) 19 ページ
8. ご留意いただきたい事項について 20 ページ

当資料をご覧いただく際の留意事項

- 当資料はニッセイ・ウェルス生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(トランジション)の各組入投資信託の運用状況等を開示するための資料です。各ご契約者の運用状況等は、毎年4回お送りする「ご契約状況のお知らせ」をご覧ください。当資料の記載事項は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 一部表記について、世界バランス25SMを「バランス25」、世界バランス50SMを「バランス50」、世界バランス75SMを「バランス75」、世界8資産バランスGSを「8資産バランス」と読み替えています。
- 特別勘定は投資信託を主たる投資対象としていますが、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は運用会社(投資信託委託会社)が作成した運用レポートを参考情報としてご提供するものであり、当資料の内容に関しニッセイ・ウェルス生命保険株式会社は一切の責任を負いません。
- 特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- 当資料の巻末に「当商品に関する留意事項」を記載しておりますので、必ずご一読いただき、内容を十分にご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金



はじめに必ずご確認ください

この商品は、ご契約日により、
 下記の通り名称が異なる場合があります。

ご契約日	販売名称	年金額 9 割保証特約、 年金額 8 割保証特約の 取扱対象
2010 年 3 月 1 日 以前の場合	「変額個人年金トランジション」	対 象
	「変額個人年金トランジション ターゲット・プラン」	_____
2010 年 3 月 2 日 以降の場合	「変額個人年金トランジション ベーシック・プラン」	_____
	「変額個人年金トランジション ターゲット・プラン」	_____

特別勘定の運用方針・投資リスク等

お選びいただける特別勘定		特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託	運用会社	特別勘定の運用方針・投資リスク	運用関連費用
ベーシック・プラン*1	ターゲット・プラン					
○		バランス 25	SMAM・インデックス・バランス VA25	三井住友DS アセット マネジメント 株式会社	中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて25%とします。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.330% (税込)
○		バランス 50	SMAM・インデックス・バランス VA50		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて50%とします。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.330% (税込)
○		バランス 75	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて75%とし、市場ベンチマークへの連動を目指します。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.29095% 程度 (税込)*2
○	○	世界株式 SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、外国株式に分散投資します。基準となる構成割合を国内株式20%、外国株式80%に設定し、市場ベンチマークとの連動を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」等があります。	年率 0.3080% 程度 (税込)*2
○	○	日本債券 SM	三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内の公社債に投資します。主に高格付の債券を投資対象とした安定運用を行い、市場ベンチマークとの連動を目指します。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.220% (税込)
○	○	外国債券 SM	三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として日本を除く世界各国の公社債に投資します。主に高格付の債券を投資対象とした安定運用を行い、市場ベンチマークとの連動を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.253% (税込)
○		8資産 バランス	グローバル・ダイバーシファイド VA		ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	先進国の株式・債券に加え、新興国の株式・債券、不動産投資信託（リート）およびコモディティ・インデックスに幅広く分散投資し、中長期的な収益の確保を目指します。アクティブ運用を行い、市場のベンチマークを上回る運用成果を追求します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」「不動産の価格変動リスク」「商品市場の変動リスク」等があります。

*1 ご契約日が2010年3月1日以前のご契約は「トランジション」、ご契約日が2010年3月2日以降のご契約は「ベーシック・プラン」となります。

*2 主な投資対象とする投資信託の信託報酬率を基準構成割合で加重平均した概算値です。主な投資対象とする投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価額の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関連費用も若干変動します。

※特別勘定が主な投資対象とする投資信託は、適格機関投資家専用を設定された投資信託です。このため、投資家の皆さまは、当該投資信託を直接購入することはできません。

※「バランス75」、「世界株式SM」の各資産クラス別の投資信託への資産配分については、純資産総額に対しておおむね基準構成割合のグラフの比率となるよう、ニッセイ・ウェルス生命が資産配分の調整を行います。

※運用関連費用は信託報酬を記載しています。信託報酬以外にお客さまにご負担いただく手数料は信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニット価格に反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※運用関連費用はご選択いただいた特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対して日割りで控除します。

※運用関連費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

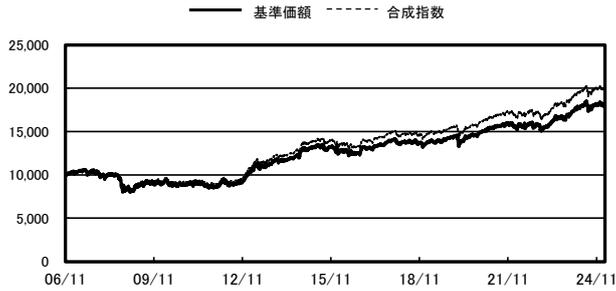
組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
 ■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 ■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

<SMAM・インデックス・バランスVA25>

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ 合成指数は、2006年11月17日を10000として、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-2.05%	-1.08%	0.15%	0.91%	78.19%
合成指数	-2.05%	-0.99%	0.39%	1.42%	96.41%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 設定来は、2006年11月17日を基準とします。

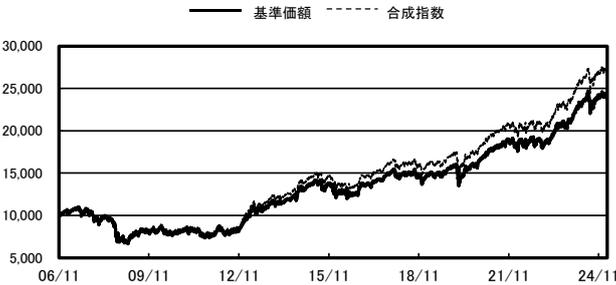
● マザーファンド組入比率

(2025年2月28日現在)

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	14.7%	15.0%
②外国株式	9.6%	10.0%
株式合計(①+②)	24.2%	25.0%
③国内債券	40.2%	40.0%
④外国債券	35.1%	35.0%
債券合計(③+④)	75.3%	75.0%

<SMAM・インデックス・バランスVA50>

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ 合成指数は、2006年11月17日を10000として、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-2.93%	-0.94%	1.57%	3.65%	136.34%
合成指数	-2.92%	-0.81%	1.88%	4.46%	164.78%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 設定来は、2006年11月17日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

(2025年2月28日現在)

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	24.7%	25.0%
②外国株式	24.3%	25.0%
株式合計(①+②)	49.1%	50.0%
③国内債券	25.0%	25.0%
④外国債券	25.3%	25.0%
債券合計(③+④)	50.4%	50.0%

各個別資産の市況推移に関しては、該当ページの各コメントをご参照ください。

国内株式: 世界バランス75SMの<SMAM・国内株式インデックスファンド・VA>
 国内債券: 世界バランス75SMの<三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS>
 外国株式: 世界バランス75SMの<三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS>
 外国債券: 世界バランス75SMの<三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS>

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の留意事項、「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

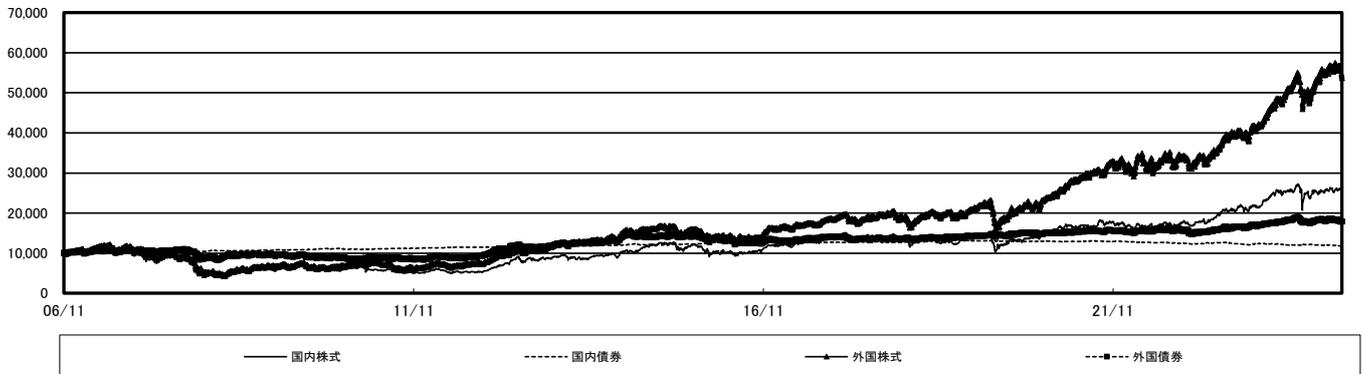
- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

<参考情報 SMAM・インデックス・バランスVA25、50>

- SMAM・インデックス・バランスVA25、50は次のマザーファンドを主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用されています。

- ・国内株式：国内株式インデックス・マザーファンド(B号)
- ・国内債券：国内債券パッシブ・マザーファンド
- ・外国株式：外国株式インデックス・マザーファンド
- ・外国債券：外国債券パッシブ・マザーファンド

● マザーファンドの基準価額の推移



- 各マザーファンドの基準価額は、2006年11月17日を10000とした指数として表示しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

		1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
国内株式	ファンド	-3.80%	0.22%	0.03%	2.60%	152.37%
	ベンチマーク*1	-3.79%	0.22%	0.03%	2.59%	151.06%
国内債券	ファンド	-0.67%	-1.49%	-2.38%	-3.88%	18.29%
	ベンチマーク*2	-0.67%	-1.50%	-2.41%	-3.90%	18.12%
外国株式	ファンド	-5.26%	-1.25%	8.14%	15.09%	436.35%
	ベンチマーク*3	-5.25%	-1.21%	8.25%	15.37%	450.76%
外国債券	ファンド	-1.93%	-0.98%	1.26%	2.04%	78.71%
	ベンチマーク*4	-2.00%	-0.97%	1.26%	2.03%	80.52%

*1: TOPIX(東証株価指数、配当込み)

*2: NOMURA-BPI(総合)

*3: MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)
 MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。

*4: FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 FTSE Fixed Income LLCの開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。

※ 設定来は2006年11月17日を基準とします。
 上記騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド純資産総額

(2025年2月28日現在)

純資産総額(百万円)	
国内株式	354,700
国内債券	129,444
外国株式	939,369
外国債券	200,200

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していること、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。

・当資料の「表紙:当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
 ■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 ■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

<参考情報 SMAM・インデックス・バランスVA25、50>

マザーファンドの状況(2025年2月28日現在)

【国内株式】

マザーファンド名:国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.9%
2	銀行業	9.2%
3	情報・通信業	7.7%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	6.5%
6	機械	5.4%
7	化学	5.0%
8	サービス業	4.8%
9	小売業	4.4%
10	医薬品	4.2%

※マザーファンド現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.7%
2	ソニーグループ	3.3%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.1%
4	日立製作所	2.5%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.0%
6	リクルートホールディングス	1.8%
7	任天堂	1.8%
8	キーエンス	1.5%
9	みずほフィナンシャルグループ	1.4%
10	東京海上ホールディングス	1.3%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,645)

【外国株式】

マザーファンド名:外国株式インデックス・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	74.2%
イギリス	3.7%
カナダ	3.2%
スイス	2.8%
フランス	2.7%
その他	13.3%

※マザーファンド株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.3%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.0%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.1%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,205)

【国内債券】

マザーファンド名:国内債券パッシブ・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	77.7%
政府保証債	2.5%
地方債	10.1%
金融債	0.0%
事業債	8.4%
円建外債	0.0%
その他	1.3%

● 残存年限別構成

1年未満	2.4%
1-3年	16.3%
3-5年	18.4%
5-7年	11.2%
7-10年	17.7%
10年以上	34.1%

※マザーファンド債券評価額対比

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	150 5年国債	1.8%
2	377 10年国債	1.0%
3	156 5年国債	1.0%
4	375 10年国債	1.0%
5	154 5年国債	0.9%
6	368 10年国債	0.9%
7	366 10年国債	0.9%
8	149 5年国債	0.8%
9	376 10年国債	0.8%
10	367 10年国債	0.8%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 438)

【外国債券】

マザーファンド名:外国債券パッシブ・マザーファンド

● 通貨別構成

アメリカドル	47.6%
ユーロ	29.4%
中国元(オフショア)	11.3%
イギリスポンド	5.1%
カナダドル	2.0%
その他	4.6%

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1-3年	28.5%
3-7年	34.0%
7-10年	13.1%
10年以上	22.8%

※マザーファンド債券評価額対比

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	アメリカドル	0.8%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26	中国元(オフショア)	0.8%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	中国元(オフショア)	0.7%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/31	中国元(オフショア)	0.6%
5	US TREASURY N/B 4.875 04/30/26	アメリカドル	0.6%
6	US TREASURY N/B 2.25 03/31/26	アメリカドル	0.6%
7	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	中国元(オフショア)	0.5%
8	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	アメリカドル	0.5%
9	US TREASURY N/B 4.25 11/15/34	アメリカドル	0.5%
10	CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	中国元(オフショア)	0.5%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 853)

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙:当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
 ■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 ■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

<SMAM・国内株式インデックスファンド・VA>

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数、配当込み）を指します。
 ■ ベンチマークは、2010年6月10日を10000として指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-3.82%	0.14%	-0.14%	2.25%	313.67%
ベンチマーク	-3.79%	0.22%	0.03%	2.59%	333.90%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	99.1%	-0.2%
先物等	1.0%	0.2%
現預金等	-0.1%	0.0%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.9%
2	銀行業	9.2%
3	情報・通信業	7.7%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	6.5%
6	機械	5.4%
7	化学	5.0%
8	サービス業	4.8%
9	小売業	4.4%
10	医薬品	4.2%

※現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.7%
2	ソニーグループ	3.3%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.1%
4	日立製作所	2.5%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.0%
6	リクルートホールディングス	1.8%
7	任天堂	1.8%
8	キーエンス	1.5%
9	みずほフィナンシャルグループ	1.4%
10	東京海上ホールディングス	1.3%

※純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,645)

国内の株式市場は下落しました。

上旬は、国内企業の2024年10-12月期決算発表が本格化しましたが、米トランプ政権の関税政策を巡る不透明感が払拭されず、次年度に向けて業績改善期待が高まる展開には至りませんでした。中旬は、2024年10-12月期GDP(国内総生産)が市場予想を上振れた一方、米国の物価指標動向やトランプ政権の政策不確実性への警戒は根強く、一進一退の展開が続きました。下旬は、米国の経済指標の下振れや大手半導体企業の決算を受けたハイテク株安が市場心理を悪化させ、国内株式市場は月末に下落しました。

業種別では、海運業、その他製品、鉄鋼などが市場をアウトパフォームした一方、精密機器、サービス業、機械などがアンダーパフォームしました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。

・当資料の「表紙: 当資料をご覧いただく際の留意事項」 「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

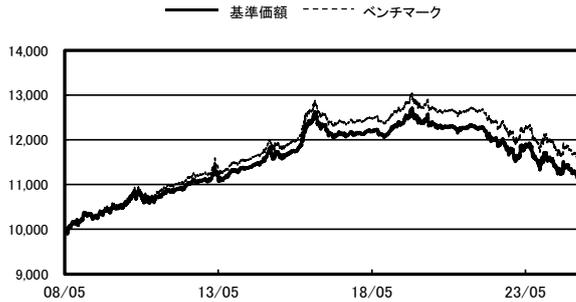
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
 ■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 ■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)を指します。
 ■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-0.69%	-1.55%	-2.49%	-4.10%	11.03%
ベンチマーク	-0.67%	-1.50%	-2.41%	-3.90%	15.26%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.7%	-0.1%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.3%	0.1%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	0.95%
平均修正デュレーション	8.63年
平均利回り	1.32%

● 債券種別構成

国債	77.7%
政府保証債	2.5%
地方債	10.1%
金融債	0.0%
事業債	8.4%
円建外債	0.0%
その他	1.3%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	2.4%
1-3年	16.3%
3-5年	18.4%
5-7年	11.2%
7-10年	17.7%
10年以上	34.1%

※現物債券評価額対比

国内の長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。上旬は、インフレへの警戒や日銀審議委員からのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な発言を背景に、追加利上げを意識した金利上昇が続きました。その後も、好調な経済指標を受けて利上げ到達点の上昇や利上げペース加速が想起され、金利上昇が進みました。しかし、金利上昇が進んだことや海外金利が低下に転じていたこと、植田日銀総裁の国会での答弁がハト派(景気を重視する立場)的と捉えられたことから、下旬には金利は上昇幅を縮小しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙:当資料をご覧ください際の留意事項」「巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

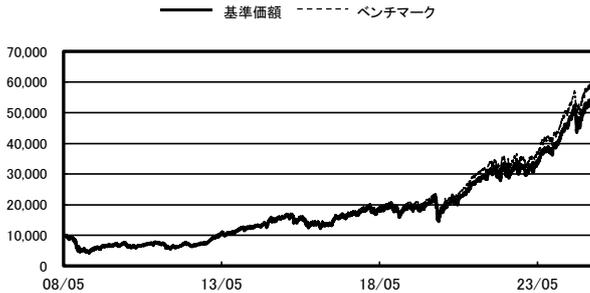
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ベンチマークは、MSCI コクサイインデックス（配当込み、円ベース）を指します。
- ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	-5.29%	-1.34%	7.96%	14.67%	409.62%
ベンチマーク	-5.25%	-1.21%	8.25%	15.37%	460.38%

- ※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	98.1%	-0.8%
先物等	2.2%	0.9%
現預金等	-0.3%	-0.1%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.3%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.0%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.1%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※純資産総額対比

(組入全銘柄数 1,205)

● 国別投資比率

アメリカ	74.2%
イギリス	3.7%
カナダ	3.2%
スイス	2.8%
フランス	2.7%
その他	13.3%

※現物株式評価額対比(外貨建リートを含む)

米国株式市場は下落しました。1月に就任したトランプ新大統領の経済・対外政策に対する思感が市場の大きな変動要因となりました。上旬は近隣国への関税発動が先送りとなったことを受けて、堅調な動きとなりました。また、米国とロシアの協議によるウクライナでの戦争終結への期待も好感されました。その後は議会で予算案の与野党協議が不調となるなど、財政出動への期待に水を差されました。さらに、トランプ大統領が想定よりも早い3月からのカナダ・メキシコに対する関税実施を表明したことから、株式市場は下落しました。企業決算は総じて、堅調な景気動向を反映した底堅い業績内容を示しました。ただし、中国発の生成AIへの警戒感などもくすぶり、アルファベットやアマゾン・ドット・コムが下落しました。

欧州株式市場は上昇しました。ECB(欧州中央銀行)が1月末に利下げを実施しており、金融緩和による景気回復期待が支援材料となりました。ウクライナ問題の解決期待やそれに伴うエネルギー価格の軟化も、プラス要因となりました。米国の関税策は近隣国や中国に重点が置かれたことから、影響は限定的でした。

(為替)米ドル/円は下落しました。月初は、カナダ・メキシコに対する関税発動の先送りや日銀による早期の追加利上げ観測から米ドル安・円高となりました。その後、CPI(消費者物価指数)の上振れ等により一旦米ドル高・円安となる局面がありましたが、ウクライナ情勢の不透明感や米金利の低下を受けて、中旬から下旬にかけて米ドル安・円高の展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ大統領の関税政策に対する不透明感やウクライナ情勢から明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙: 当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

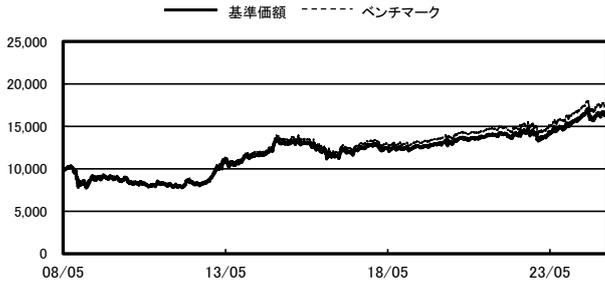
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を指します。
- ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	-1.96%	-1.05%	1.12%	1.76%	60.38%
ベンチマーク	-2.00%	-0.97%	1.26%	2.03%	70.65%

- ※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.3%	-0.2%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.7%	0.2%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 通貨別構成

アメリカドル	47.6%
ユーロ	29.4%
中国元(オフショア)	11.3%
イギリスポンド	5.1%
カナダドル	2.0%
その他	4.6%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1-3年	28.5%
3-7年	34.0%
7-10年	13.1%
10年以上	22.8%

※現物債券評価額対比

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.15年
修正デュレーション	6.30年
複利利回り	3.47%

米国では、長期金利(10年国債利回り)は低下しました。月初は、多くの経済指標が市場予想を下回ったことから、金利は低下しました。その後、雇用統計の賃金上昇率やCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことから、金利は一旦上昇しました。しかし、月後半は経済指標が市場予想を下回ったほか、FOMC(米連邦公開市場委員会)議事録で量的引き締めを減速や停止が議論されていたことが判明し、金利は低下しました。

ユーロ圏では、長期金利(ドイツ10年国債利回り)は低下しました。月前半は、米国の金利に追随する展開となりました。月央には、ウクライナ情勢を受けた国防費増加観測から、金利は上昇しました。その後は米金利の低下に追随し、金利は低下しました。

(為替)米ドル/円は下落しました。月初は、カナダ・メキシコに対する関税発動の先送りや日銀による早期の追加利上げ観測から米ドル安・円高となりました。その後、CPIの上振れ等により一旦米ドル高・円安となる局面がありましたが、ウクライナ情勢の不透明感や米金利の低下を受けて、中旬から下旬にかけて米ドル安・円高の展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ大統領の関税政策に対する不透明感やウクライナ情勢から明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していること、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の「留意事項」巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

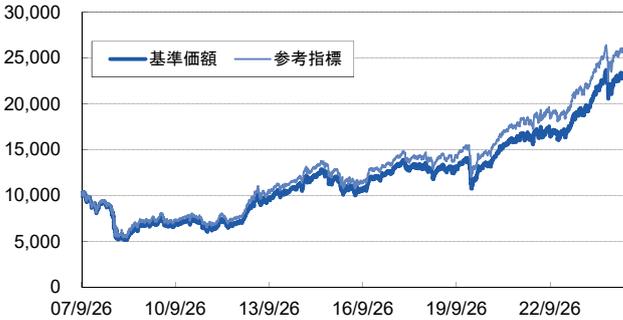
TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界8資産バランスGS	グローバル・ダイバーシファイドVA 〈適格機関投資家専用〉	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
 ■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
 ■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

設定来の運用実績(設定日:2007年9月26日)



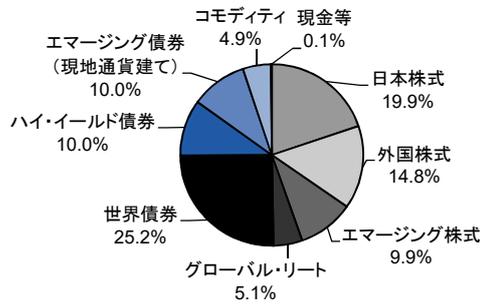
※参考指標:ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・インデックス(円換算ベース)25%+ブルームバーグ・US・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%+イシュア・キャップ(円換算ベース)10%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)10%+TOPIX(配当込み)20%+MSCIコクサイ指数(円換算ベース)15%+MSCI エマーシング・マーケット・インデックス(円換算ベース)10%+S&P先進国REITインデックス(除く米国、トータル・リターン、円ベース)およびS&P先進国REITインデックス(トータル・リターン、円ベース)を1対1の割合で合成した指数5%+S&P GSCIトータル・リターン・インデックス(円換算ベース)5%(設定日を10,000として指数化)。上記の基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。本ファンドの騰落率を参考指標と比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価が替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご注意ください。また、参考指標には直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておりません。

期間別騰落率(%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.76	0.26	3.42	6.44	40.32	125.35
参考指標	-2.49	0.85	3.56	7.41	42.93	153.57

※設定来は、2007年9月26日を基準とします。

資産配分

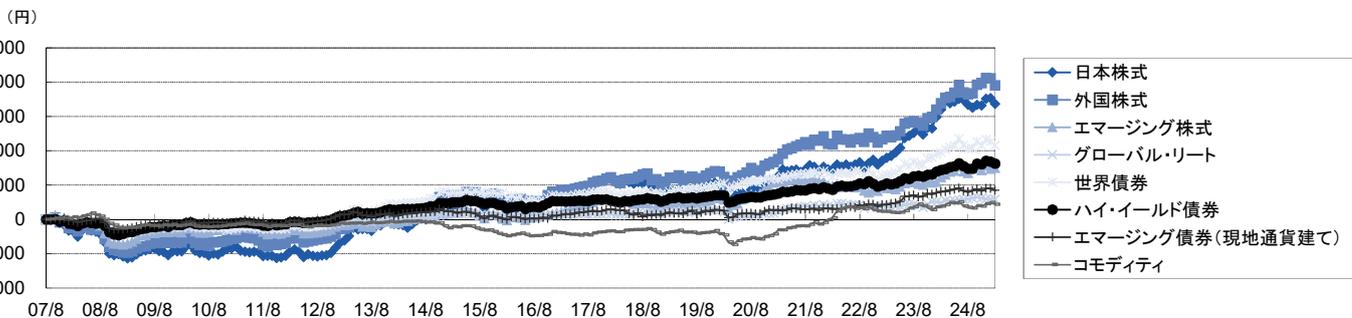


上記は各指定投資信託証券の組入比率です。

(ご参考) 基準価額変動の要因分析(1万円当たり、円)

資産区分	寄与額												設定来
	24/3	24/4	24/5	24/6	24/7	24/8	24/9	24/10	24/11	24/12	25/1	25/2	
日本株式	245	-60	42	85	-33	-146	-76	82	-18	189	22	-166	3,369
外国株式	156	34	115	223	-210	-53	22	256	48	148	-11	-206	3,907
エマーシング株式	80	80	29	116	-140	-44	131	86	-131	125	-85	28	1,501
グローバル・リート	50	-13	17	21	13	8	30	27	-23	-30	1	-9	588
世界債券	85	63	52	201	-194	-108	21	200	-111	176	-69	-108	2,161
ハイ・イールド債券	32	60	21	90	-89	-78	2	156	-27	104	-22	-55	1,631
エマーシング債券(現地通貨建て)	7	37	29	35	-80	-37	44	40	-56	80	-1	-60	845
コモディティ	53	66	-26	43	-127	-36	-28	80	-19	72	34	-48	441
その他	-15	-17	-17	-16	-19	-15	-16	-17	-15	-18	-18	-16	-1,909
合計	693	251	262	799	-879	-509	131	910	-353	846	-148	-640	12,535

●変動要因の推移(累積)



上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各指定投資信託証券による寄与度は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は本ファンドの基準価額の変動額と合わないことがあります。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の預金等を保有していること、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙:当資料をご覧ください」の「留意事項」巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界8資産バランスGS	グローバル・ダイバーシファイドVA 〈適格機関投資家専用〉	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
 ■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
 ■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

指定投資信託証券の運用実績

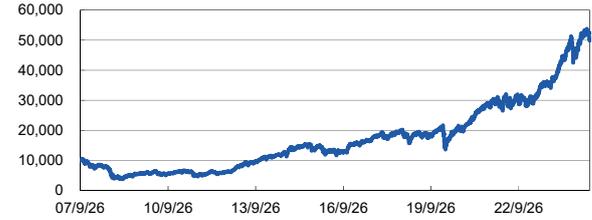
日本株式

日本株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド



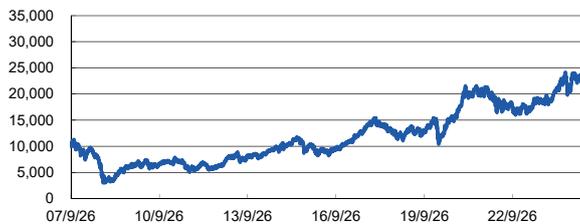
外国株式

外国株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド



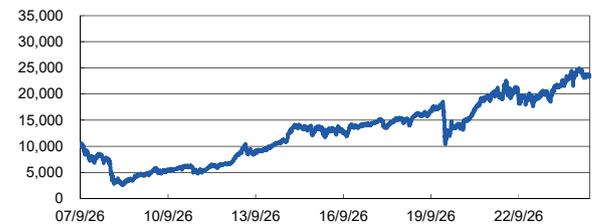
エマージング株式

ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ



グローバル・リート

グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド



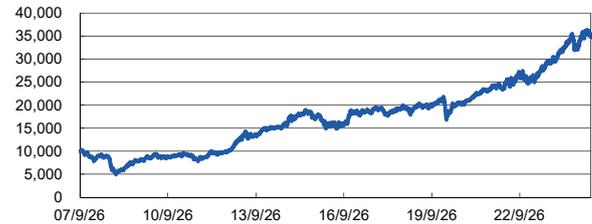
世界債券

ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ



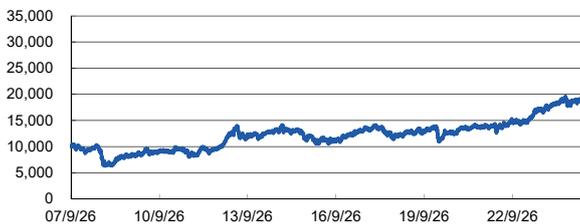
ハイ・イールド債券

ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ



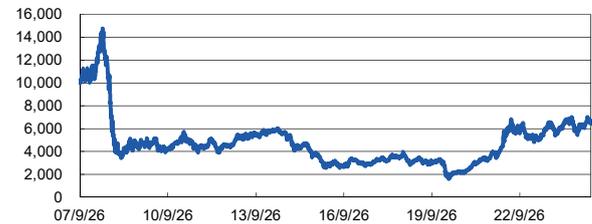
エマージング債券(現地通貨建て)

ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ



コモディティ

iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト



上記グラフは本ファンドが組入れている各指定投資信託証券の実績であり、本ファンドそのものの実績ではありません。上記のグラフのうち、外貨建の指定投資信託証券の運用実績については円換算を行っており、円換算には三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値(TTMレート)を用いています。なお、各指定投資信託証券の運用実績は、本ファンドの設定日(2007年9月26日)を10,000として指数化しています。また上記コモディティのグラフにつきまして、2008年4月18日までの期間は、ゴールドマン・サックス・コモディティーズ・エンハンスド・インデックス・ポートフォリオ、2020年8月31日までの期間はゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラストの実績です。上記グローバル・リーートのグラフにつきまして、2010年1月6日までの期間は、ゴールドマン・サックス グローバルREITマザーファンドの実績です。上記エマージング株式のグラフにつきまして、2013年10月18日までの期間は、ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオの実績です。

【指定投資信託証券変更のお知らせ】

2020年9月1日よりコモディティ部分の指定投資信託証券が従来のゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラストからiシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラストに変更となりました。新規に組み入れられた指定投資信託証券も従来と同じS&P GSCI トータル・リターン・インデックス(米ドルベース)をベンチマークとし、インデックスの実績に概ね対応する投資成果をあげることを目標としています。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していること、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙:当資料をご覧ください」の留意事項「巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。



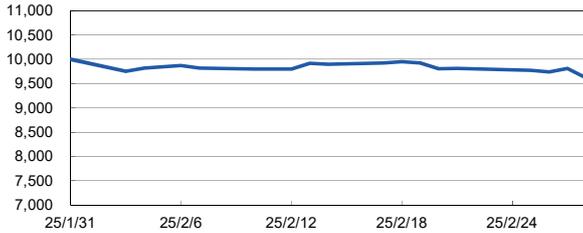
組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界8資産バランスGS	グローバル・ダイバーシファイドV A 〈適格機関投資家専用〉	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

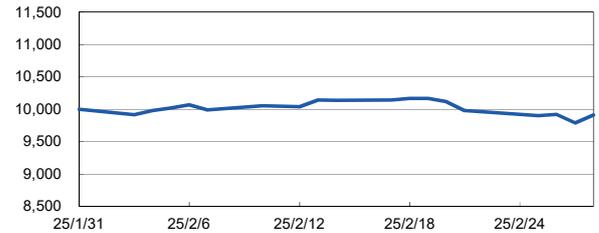
■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
 ■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
 ■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケット概況 (2025年2月)

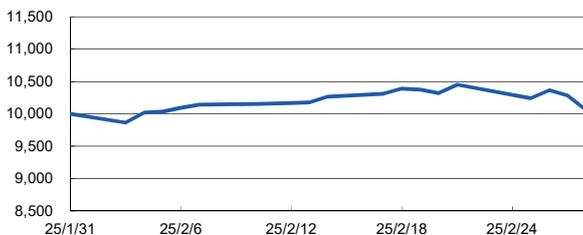
日本株式市場 TOPIX(配当なし)



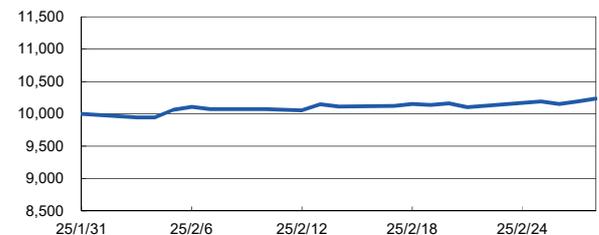
外国株式市場 MSCIコクサイ指数(現地通貨ベース)



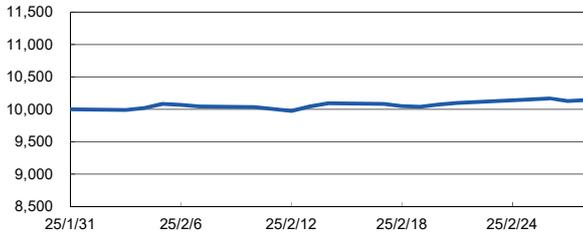
エマージング株式市場 MSCIエマージング・マーケット・インデックス(現地通貨ベース)



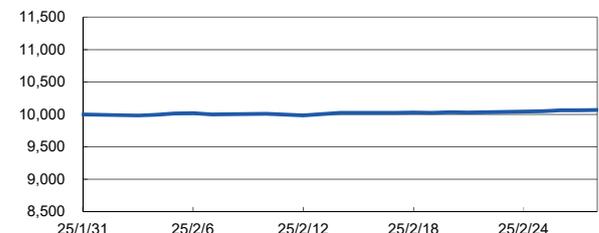
グローバル・リート市場 S&P先進国REITインデックス(トータル・リターン、米ドルヘッジベース)



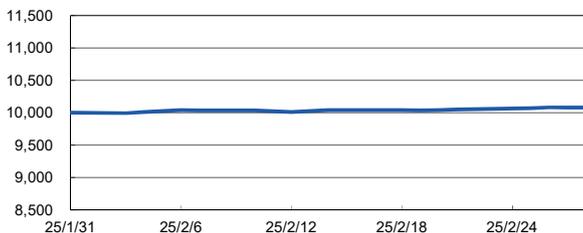
世界債券市場 ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・インデックス(米ドルベース)



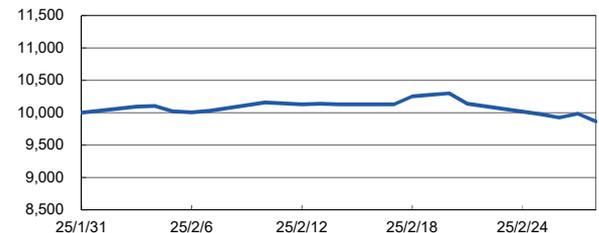
ハイ・イールド債券市場 ブルームバーグ・US・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス 2%イシューア・キャップ(米ドルベース)



エマージング債券(現地通貨建て)市場 JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル ダイバーシファイド(現地通貨ベース)



コモディティ市場 S&P GSCIトータル・リターン・インデックス(米ドルベース)



上記グラフは各資産クラスの市場の動きを示すために、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が任意に選んだ指数の推移を示したものであり、本ファンドの各指定投資信託証券のベンチマークとは限りません。前月末を10000として指数化しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIX(東証株価指数)に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の留意事項「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界8資産バランスGS	グローバル・ダイバーシファイドV A <適格機関投資家専用>	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
 ■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
 ■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケットコメント-1 (2025年2月)

【日本株式市場】

当月の国内株式市場は下落しました。

上旬は、米国の関税政策に関する報道を嫌気して、国内株式市場は下落しました。中旬は、日銀の追加利上げ観測の高まりから国内で金利が上昇するとともに円高が進行し、国内株式市場は上値の重い展開となりました。下旬は、引き続き米国の関税政策を巡る不透明感が市場の重石となったほか、米半導体大手の株価が決算発表後に下落したことを受け、日本においても半導体関連銘柄を中心に下落しました。

なお、業種別の騰落率では、海運業、その他製品、鉄鋼などが上位となった一方、精密機器、サービス業、機械などが下位となりました。

【外国株式市場】

当月の外国株式市場は小幅に下落しました。

上旬は、米国の関税政策に関する報道が嫌気され下落する場面があったものの、AI(人工知能)関連銘柄などが上昇したことから、外国株式市場は小幅上昇となりました。中旬は、米国の大手ハイテク関連銘柄の好決算などが支援材料となり、外国株式市場は小幅上昇となりました。下旬は、米国の関税政策を巡る不透明感が市場の重石となったほか、半導体大手の株価が決算発表後に下落したことなどを受け、外国株式市場は下落しました。

【エマージング株式市場】

当月のエマージング株式市場は上昇しました。

上旬から中旬にかけては、米国の関税に関する報道を嫌気して一時市場でリスク回避姿勢が強まりましたが、関税の適用開始時期が一部延期されたことや、中国企業が開発したAI(人工知能)モデルの登場によって中国のAI産業の成長期待が高まったこと、中国政府のハイテク産業へのサポート姿勢が一部確認されたことで、中国市場の上昇が目立つ展開となりました。下旬は、米半導体大手の株価が決算発表後に下落したことを受け、台湾市場の半導体関連銘柄などが売られました。またインドでは、引き続き景気減速への懸念や海外投資家からの売り越しが悪材料となり、市場は軟調に推移しました。

【グローバル・リート市場】

当月のグローバル・リート市場は上昇しました。

米国は関税政策を受けた景気減速懸念で金利が低下したことを好感し、これまで株式市場の上昇を牽引したハイテク関連株からのローテーションもあり、上昇しました。欧州は各国まちまちの展開となり、英国は利下げを決めたものの物価高と先行き景気への警戒感で下げ、ドイツも軟調に推移しましたが、ロシア・ウクライナ情勢の終結に向けた協議が始まるとの期待感で上昇した地域もありました。アジアのリート市場もまちまちとなりました。中国は米国による対中関税が当初懸念よりも控えめだったとの見方や政府主導の景気対策期待もあって上昇し、日本では追加利上げ観測があるものの割安感を踏まえた買収報道も好材料に上昇しました。一方、オーストラリアは大手物流による増資希薄化を嫌気して下落しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の留意事項、「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界8資産バランスGS	グローバル・ダイバーシファイドV A <適格機関投資家専用>	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
- 本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケットコメント-2 (2025年2月)

【世界債券市場】

当月の世界債券市場では、主要先進国の国債利回りは総じて低下(価格は上昇)しました。

米国では、月初は、12月の求人件数や1月のISM(米供給管理協会)非製造業景況指数がいずれも市場予想を下回り、米景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから利回りは低下しましたが、1月の雇用統計における非農業部門雇用者数が下振れしたものの、前月分が上方修正されると利回りは上昇に転じました。その後は、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長が利下げを急ぐ必要はないとの見方を示したことや、1月のCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回った局面では利回りが上昇する一方、1月の小売売上高が市場予想を上回る落ち込みとなり、投資家のリスク回避姿勢が強まった局面などでは利回りが低下するなど、一進一退の推移となりました。月末にかけては、2月の総合PMI(購買担当者景気指数)速報値や消費者信頼感指数がいずれも市場予想を下回った局面などで利回りは低下した結果、米国10年国債利回りは、前月末対比で低下しました。

ドイツでは、上旬は、景気指標が総じて軟調となった米国債市場の動向に影響を受けたことや、同国の12月の鉱工業生産が市場予想を下回ったことなどから利回りは低下しました。その後は、2月のZEW(欧州経済研究センター)景況感指数が前月から大きく改善したことなどを受けて、利回りは上昇に転じました。月末にかけては、ドイツの2月の非製造業PMI速報値や3月の消費者信頼感指数がいずれも市場予想を下回り、同国経済に対する先行き不透明感が強まったことなどを背景に利回りは低下した結果、ドイツ10年国債利回りは、前月末対比で低下しました。

【ハイ・イールド市場】

当月のハイ・イールド社債市場は、代表的な指標であるブルームバーグUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス(米ドルベース)が前月末比+0.67%となりました。

トランプ米大統領によるウクライナとロシアの停戦交渉が進めば、ロシアからの原油供給が増えるとの見方などから原油価格が下落した月末にかけて、スプレッド(米国債に対する上乗せ金利)は拡大しました。格付け別では、BB格債がB格債やCCC格債をアウトパフォーマンスしました。セクター別では、医薬品や天然ガスなどがアウトパフォーマンスした一方、運輸やメディアなどがアンダーパフォーマンスしました。

【エマージング債券(現地通貨建て)市場】

当月のJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(現地通貨ベース)のリターンは、前月末比+0.8%となりました。

当月のエマージング債券市場は、米金利の低下が好感されたほか、米国がメキシコ・カナダへの関税発動の延期を発表した局面などで堅調に推移しました。国別では、メキシコやペルーなどが上昇した一方、南アフリカや中国などが市場全体に比べ軟調となりました。メキシコは、米国が同国に対する関税の発動を先送りした局面や中央銀行が利下げを決定したことなどが支援材料となりました。一方、南アフリカは、米国が同国への資金援助の停止を発表したことなどが嫌気されました。

【コモディティ市場】

当月のコモディティ市場(S&P GSCI)は前月比-1.3%となりました(米ドル・ベース)。市場予想を下回る米国経済活動を背景に原油価格が下落した一方で、中国に対するリスクセンチメントの改善により銅価格が上昇したほか、貴金属では金価格が上昇しました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の「留意事項」巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

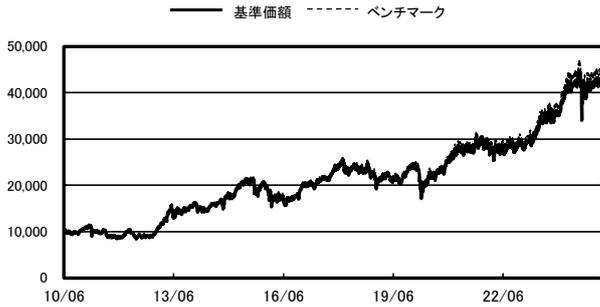
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界株式SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

<SMAM・国内株式インデックスファンド・VA>

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数、配当込み）を指します。
- ベンチマークは、2010年6月10日を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-3.82%	0.14%	-0.14%	2.25%	313.67%
ベンチマーク	-3.79%	0.22%	0.03%	2.59%	333.90%

- ※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	99.1%	-0.2%
先物等	1.0%	0.2%
現預金等	-0.1%	0.0%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.9%
2	銀行業	9.2%
3	情報・通信業	7.7%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	6.5%
6	機械	5.4%
7	化学	5.0%
8	サービス業	4.8%
9	小売業	4.4%
10	医薬品	4.2%

※現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.7%
2	ソニーグループ	3.3%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.1%
4	日立製作所	2.5%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.0%
6	リクルートホールディングス	1.8%
7	任天堂	1.8%
8	キーエンス	1.5%
9	みずほフィナンシャルグループ	1.4%
10	東京海上ホールディングス	1.3%

※純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,645)

国内の株式市場は下落しました。

上旬は、国内企業の2024年10-12月期決算発表が本格化しましたが、米トランプ政権の関税政策を巡る不透明感が払拭されず、次年度に向けて業績改善期待が高まる展開には至りませんでした。中旬は、2024年10-12月期GDP(国内総生産)が市場予想を上振れた一方、米国の物価指標動向やトランプ政権の政策不確実性への警戒は根強く、一進一退の展開が続きました。下旬は、米国の経済指標の下振れや大手半導体企業の決算を受けたハイテク株安が市場心理を悪化させ、国内株式市場は月末に下落しました。

業種別では、海運業、その他製品、鉄鋼などが市場をアウトパフォームした一方、精密機器、サービス業、機械などがアンダーパフォームしました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」際の「留意事項」「巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界株式SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

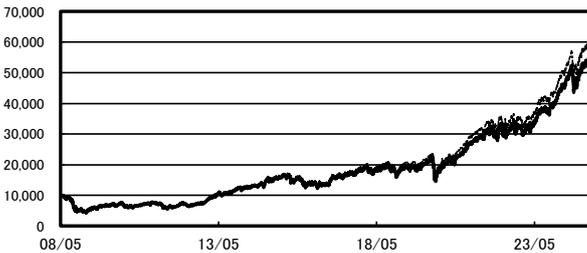
- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績

—— 基準価額 - - - - - ベンチマーク



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ベンチマークは、MSC I コクサイインデックス（配当込み、円ベース）を指します。
- ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 国別投資比率

アメリカ	74.2%
イギリス	3.7%
カナダ	3.2%
スイス	2.8%
フランス	2.7%
その他	13.3%

※現物株式評価額対比（外貨建リートを含む）

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-5.29%	-1.34%	7.96%	14.67%	409.62%
ベンチマーク	-5.25%	-1.21%	8.25%	15.37%	460.38%

- ※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	98.1%	-0.8%
先物等	2.2%	0.9%
現預金等	-0.3%	-0.1%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.3%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.0%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.1%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※純資産総額対比

（組入全銘柄数 1,205）

米国株式市場は下落しました。1月に就任したトランプ新大統領の経済・対外政策に対する思感が市場の大きな変動要因となりました。上旬は近隣国への関税発動が先送りとなったことを受けて、堅調な動きとなりました。また、米国とロシアの協議によるウクライナでの戦争終結への期待も好感されました。その後は議会で予算案の与野党協議が不調となるなど、財政出動への期待に水を差されました。さらに、トランプ大統領が想定よりも早い3月からのカナダ・メキシコに対する関税実施を表明したことから、株式市場は下落しました。企業決算は総じて、堅調な景気動向を反映した底堅い業績内容を示しました。ただし、中国発の生成AIへの警戒感などもくすぶり、アルファベットやアマゾン・ドット・コムが下落しました。

欧州株式市場は上昇しました。ECB（欧州中央銀行）が1月末に利下げを実施しており、金融緩和による景気回復期待が支援材料となりました。ウクライナ問題の解決期待やそれに伴うエネルギー価格の軟化も、プラス要因となりました。米国の関税策は近隣国や中国に重点が置かれたことから、影響は限定的でした。

（為替）米ドル/円は下落しました。月初は、カナダ・メキシコに対する関税発動の先送りや日銀による早期の追加利上げ観測から米ドル安・円高となりました。その後、CPI（消費者物価指数）の上振れ等により一旦米ドル高・円安となる局面がありましたが、ウクライナ情勢の不透明感や米金利の低下を受けて、中旬から下旬にかけて米ドル安・円高の展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ大統領の関税政策に対する不透明感やウクライナ情勢から明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

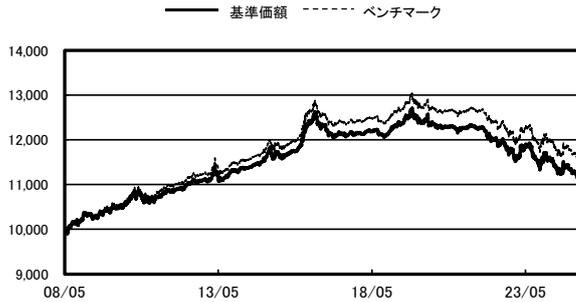
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
日本債券SM	三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS (適格機関投資家専用)	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
 ■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 ■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)を指します。
 ■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	-0.69%	-1.55%	-2.49%	-4.10%	11.03%
ベンチマーク	-0.67%	-1.50%	-2.41%	-3.90%	15.26%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.7%	-0.1%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.3%	0.1%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 債券種別構成

国債	77.7%
政府保証債	2.5%
地方債	10.1%
金融債	0.0%
事業債	8.4%
円建外債	0.0%
その他	1.3%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	2.4%
1-3年	16.3%
3-5年	18.4%
5-7年	11.2%
7-10年	17.7%
10年以上	34.1%

※現物債券評価額対比

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	0.95%
平均修正デュレーション	8.63年
平均利回り	1.32%

国内の長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。上旬は、インフレへの警戒や日銀審議委員からのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な発言を背景に、追加利上げを意識した金利上昇が続きました。その後も、好調な経済指標を受けて利上げ到達点の上昇や利上げペース加速が想起され、金利上昇が進みました。しかし、金利上昇が進んだことや海外金利が低下に転じていたこと、植田日銀総裁の国会での答弁がハト派(景気を重視する立場)的と捉えられたことから、下旬には金利は上昇幅を縮小しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
 ・当資料の「表紙:当資料をご覧ください」の「留意事項」「巻末:当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

組入投資信託の運用状況〈月次〉

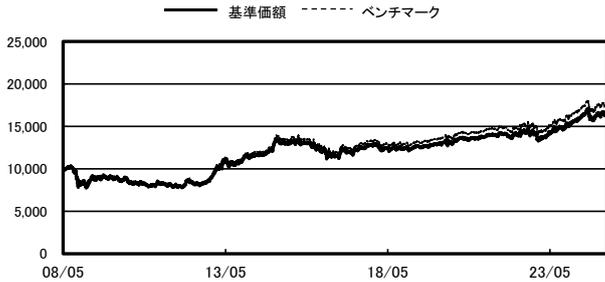
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
外国債券SM	三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS (適格機関投資家専用)	 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

- このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
- このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

〈三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS〉

(2025年2月28日現在)

● 設定来運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を指します。
- ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	-1.96%	-1.05%	1.12%	1.76%	60.38%
ベンチマーク	-2.00%	-0.97%	1.26%	2.03%	70.65%

- ※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.3%	-0.2%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.7%	0.2%
合計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.15年
修正デュレーション	6.30年
複利利回り	3.47%

● 通貨別構成

アメリカドル	47.6%
ユーロ	29.4%
中国元(オフショア)	11.3%
イギリスポンド	5.1%
カナダドル	2.0%
その他	4.6%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1-3年	28.5%
3-7年	34.0%
7-10年	13.1%
10年以上	22.8%

※現物債券評価額対比

米国では、長期金利(10年国債利回り)は低下しました。月初は、多くの経済指標が市場予想を下回ったことから、金利は低下しました。その後、雇用統計の賃金上昇率やCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことから、金利は一旦上昇しました。しかし、月後半は経済指標が市場予想を下回ったほか、FOMC(米連邦公開市場委員会)議事録で量的引き締めを減速や停止が議論されていたことが判明し、金利は低下しました。

ユーロ圏では、長期金利(ドイツ10年国債利回り)は低下しました。月前半は、米国の金利に追随する展開となりました。月央には、ウクライナ情勢を受けた国防費増加観測から、金利は上昇しました。その後は米金利の低下に追随し、金利は低下しました。

(為替)米ドル/円は下落しました。月初は、カナダ・メキシコに対する関税発動の先送りや日銀による早期の追加利上げ観測から米ドル安・円高となりました。その後、CPIの上振れ等により一旦米ドル高・円安となる局面がありましたが、ウクライナ情勢の不透明感や米金利の低下を受けて、中旬から下旬にかけて米ドル安・円高の展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ大統領の関税政策に対する不透明感やウクライナ情勢から明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

- ・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- ・当資料の「表紙: 当資料をご覧ください」の「留意事項」巻末: 当商品に関する留意事項」を必ずご確認ください。

ご留意いただきたい事項について

投資リスクについて

〈ご注意〉

この保険は、特別勘定の運用実績に基づいて、将来の年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が増減します。**特別勘定は、国内外の株式・債券等を実質投資対象とするため、特別勘定の資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。「株価の下落」、「債券価格の下落」、「為替変動」等によりお受取りになる年金の合計額、解約払戻金額等が払込保険料（一時払保険料）を下回り、損失が生じる可能性があります。**選択した特別勘定の種類によっては基準となる指標やリスクの種類が異なることとなります。これら投資リスクは、変額個人年金保険をご契約のお客さまが負うこととなります。

お客さまにご負担いただく費用について

- お客さまにご負担いただく費用です。詳細につきましては、ご契約商品の「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」もあわせてご参照ください。

〈全てのお客さまにご負担いただく費用〉

- 契約初期費用 一時払保険料に対して4%を契約日に控除します。
- 保険契約関連費用 据置期間中および年金受取期間中の積立金額に対して年率1.5%を日割りで控除します。
- 運用関連費用 投資信託の信託報酬について、特別勘定の運用にかかる費用として特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対して、年率0.22～0.89275%（税込）を日割りで控除します。信託報酬以外でお客さまにご負担いただく手数料は、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニット価格に反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関連費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

〈特定のお客さまにご負担いただく費用〉

- 解約、一部解約する際にかかる費用... ご契約から3年未満の「解約」「一部解約」に際し、解約控除の対象となる額に対して、経過年数に応じ2.0%～1.0%を控除します。
 - 年金一括受取する際にかかる費用... ご契約から3年未満の「年金一括受取」に際し、年金一括受取控除の対象となる額に対して経過年数に応じ1.5%～1.0%を控除します。
 - 年金額9割保証特約および..... 年金額を保証するための費用として年金支払開始日以後、主契約の保険契約関連費用と併せて、年金額8割保証特約を付加した場合の費用 積立金額に対して年率0.6%を日割りで控除します。
- ※「年金額9割保証特約」と「年金額8割保証特約」は、ご契約日が2010年3月1日以前のご契約（ターゲット・プランを除く）のみ対象となります。
- 年金管理費 定額年金払移行後特約を付加し、定額年金払で受取る場合、特約年金受取日に積立金から特約年金額の1%を控除します。

※定額年金払移行後特約による定額年金への移行後および新遺族年金支払特約による特約年金受取期間中は、保険契約関連費用および運用関連費用はかかりませんが、費用等を控除したニッセイ・ウェルス生命の定める率により一般勘定で運用を行います。

お客さまの不利益となる保険契約に関する重要事項について

- 将来お支払する年金の原資と、毎年の年金額に最低保証はありません。
- 解約払戻金額に最低保証はありません。

その他の留意点

- 「変額個人年金」は、ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 商品内容の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」を必ずご覧いただき、内容をご確認下さい。なお、当商品は現在ご加入いただけません。

【引受保険会社】

ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社

〒141-6023 東京都品川区大崎2-1-1

変額個人年金専用フリーダイヤル TEL:0120-803-511

※お客さまからのお問い合わせに対する適切な対応のため、通話を録音させていただいております。

受付時間：月～金曜（祝日・年末年始はのぞきます） 午前9:00～午後5:00

ホームページ www.nw-life.co.jp